

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院 連携：熊本大学教育学部情報教育研究会 D-project
コラボ研修プログラム	事業名： 熊本大学教職大学院情報教育研修会 子供たちの可能性を引き出す～タブレット端末で拓く「クリエイティブな学び」とこれからの「校内研修」～
支援事業報告書	研修等名： NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修 熊本大学教職大学院情報教育研修会 年間テーマ 子供たちの可能性を引き出す ～タブレット端末で拓く「クリエイティブな学び」とこれからの「校内研修」～
	開催日時：令和5年6月～令和6年2月 開催場所：遠隔YouTube配信 対面 熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号） 参加人数と参加者の属性：学校関係者・教育関係者・教職大学院関係者他（県外含） 参加人数 6月遠隔78人 7月遠隔188人 8月対面22人 9月遠隔26人 10月対面23人 11月対面27人、遠隔35人 12月対面26人、遠隔35人 1月対面13人、遠隔193人 2月遠隔132人

内容：

- 6月10日(土)「iPadを使った教師の知的生産術～知っているようで知らないiPadの活用法～」講師によるファイルやWebページの取り扱い、GoodNotesやフリーボードの使い方のあと、iPad活用のちょっとしたアイデアを共有する。
- 7月22日(土)「デジタルの学びって何だ～筆者と語る『まんがで知るデジタルの学び2』」「デジタルの学びのもととなった授業実践について3人が紹介したと、心に残った場面や感想、著者に尋ねたいことをディスカッションして共有する。
- 8月12日(土)「Mac実技講座～①超入門講座+②動画編集講座～」講師によるMacの実技講習を、超入門講座、動画編集講座に分けて実施する。演習して作成した作品を発表して共有する。
- 9月2日(土)「実験的ポスターセッション～OviceによるICT活用研修～」Oviceを利用したオンラインポスターセッションに取り組む。3人の講師によるポスターセッションを実施し、新しい研修の在り方について考えた。
- 10月14日(土)「バーチャル空間で学ぶ～実験的オンラインポスターセッション～」New Workを利用したオンラインポスターセッションに取り組む。3人の講師によるポスターセッションを実施し、新しい研修の在り方について考えた。
- 11月11日(土)「新しい学びを支援する授業の在り方を探る～ICTを活用した授業実践交流会～」8人による、ICTを活用した実践交流を行う。実践発表に対する質問や意見を交流することで、よりよいICTの活用について考えを深めた。
- 12月9日(土)「GIGA端末でのNHK for School活用 学習観の転換を探る」NHK for Schoolについて自分が知らない、おすすめNHK for School番組のプレゼン作りを行う。後半はパネルディスカッションで深めた。
- 1月20日(土)「今、改めて考える～学習指導要領が意図するところ～」合田哲雄氏（現 文化庁次長）による講演の後、合田哲雄氏と大学院生との対話が行われ、モデレーターを遠藤洋路氏（熊本市教育長）が務める。
- 2月17日(土)「新しい校内研修のあり方を考える～教職員の「探究的な学び」による研修の高変化～」熊本市内の3人の研究主任による校内研修の事例報告のあと、ワークショップ、パネルディスカッションを行い議論を深めた。

成果：

- ・熊本市を中心に、全国の先進的な取り組みを知ることができ、すぐに取り組んでみたいと思うものが多い。
- ・必ずグループで話し合う場が設定されている。その中で質問をしたり、互いの感想を交流したりできるため、学びを確かなものにすることができる。さらに、グループで出された話題を共有することからも多くのことを学べる。
- ・実践を知るだけでなく、スキル研修もあり、新たなタブレットの活用について学ぶことができる。気軽に質問をすることができる場所もすばらしい。
- ・これから何をを目指すのかを知ることができる。日常の取り組みを振り返ることにより、自分の取り組みに自信を持ったり、さらなる取り組みを見出したりすることができる。
- ・熊本県外からの参加が容易にできる。オンラインを活かし、熊本の先進的な取り組みを学ぶことができる。

アイデアや工夫したこと：

- ・参加者のニーズに応じるテーマの設定を行い、参加者の満足度を高めることを心掛けた。
- ・市内の全小中学校へのチラシの配布、SNS等での全国への呼びかけを充実した。県外からの参加者、継続しての参加者も多くみられた。
- ・より多くの参加者にとって意義ある実践発表になるように、オンラインによる研修の利点を活かして県外の先進的な取り組みを行っている方に講演を依頼したり、小学校と中学校の実践の報告を入れたりして計画した。
- ・ブレイクアウトルームで、少人数によるグループ協議を行うとともに、出された意見をホワイトボードで集約し、その意見も取り入れながら会を進めた。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。



6月例会

講話

山口修一氏（熊本市教育センター）

前田康裕氏（熊本大学大学院）



7月例会

講話・ディスカッション

本田裕紀氏（熊本市教育センター指導主事）

明石祥子氏（くまもとフェアトレード推進委員会代表）

山下若菜氏（熊本市教育センター指導主事）



8月例会

講話

山口修一氏（熊本市教育センター）



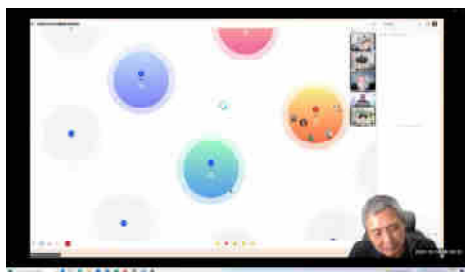
9月例会

ポスターセッション

西尾環氏（熊本市立本荘小学校）

渡辺猛氏（熊本市立北部東小学校）

村上正祐氏（熊本市教育センター）



10月例会

ポスターセッション

山口修一氏（熊本市教育センター）

本田裕紀氏（熊本市教育センター）

後藤匡敬氏（熊本大学教育学部附属特別支援学校）



11月例会

実践発表 赤星征典氏(熊本大学教育学部附属中)片山郁恵氏(熊本市立白川小)神崎直人氏(熊本市立画図小)杉本朗氏(熊本市立黒髪小)古田翔太郎氏(熊本市立五福小)山崎大地氏(熊本市立中島小)山本 祐之介氏(熊本市立白山小)和久田ひかる氏(熊本市立田底小)



12月例会

ワークショップ・パネルディスカッション

中橋雄氏氏（日本大学）

安井政樹氏（札幌国際大学）

奥西邦彦氏（NHK）

長谷川菜々氏(仙台市立錦ヶ丘小学校)



1月例会

講話

合田哲雄氏（文化庁次長）

対話

合田哲雄氏（文化庁次長）

遠藤洋路氏（熊本市教育長）

大学院生（熊本大学教職大学院）



2月例会

実践発表

稲田潤哉氏（熊本市立北部中学校）

川村滉明氏（熊本市立川上小学校）

徳永潤治氏（熊本市立桜山中学校）